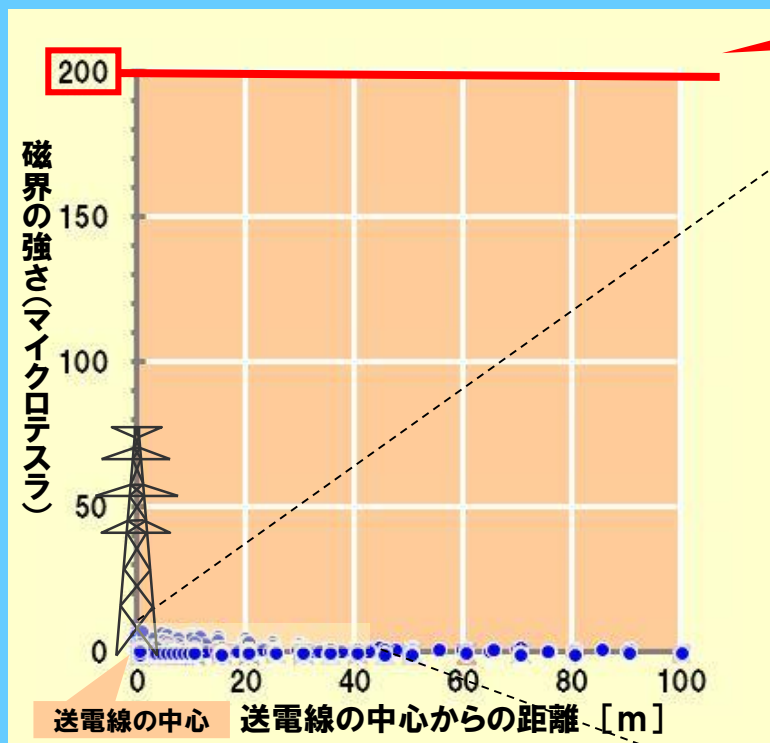


送電線周辺における磁界の測定値

(電気事業連合会 調べ)

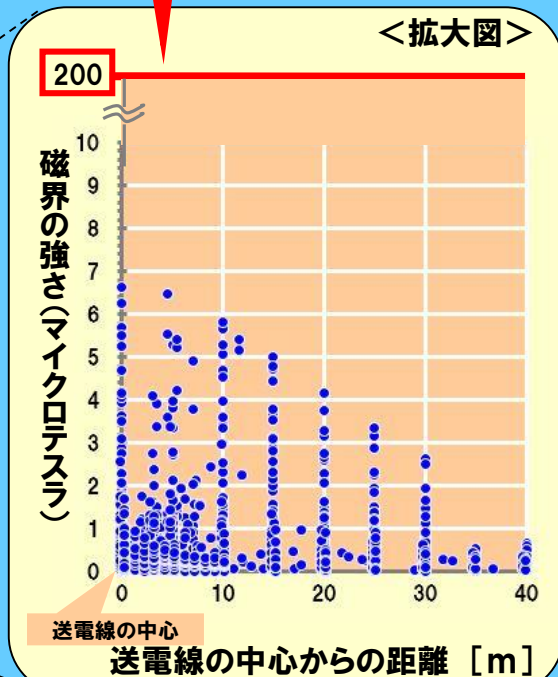
【測定結果】

- 送電線周辺の磁界の強さ(測定値)は、国の定める規制値200マイクロテスラに対して、最大でも約7マイクロテスラ(規制値の約1/25)です。
- 送電線から離れるに従い、磁界は弱くなっています。



国の定める規制値
200 マイクロテスラ

<拡大図>



※測定結果は、送電線以外の影響(配電線など)を含んでいます。
※対象送電線の電圧、電線高さなどは、設備により異なります。

【測定概要】

(1) 目的

送電線周辺の磁界の強さ(磁束密度)が、国の定める「電気設備に関する技術基準を定める省令」の規制値(200マイクロテスラ)に対してどの位の強さなのかを確認するために、磁界の強さを測定しました。

(2) 測定時期

平成24~28年(各年の7~9月)

※平成25年は、全国的な調査を実施しておりません。

(3) 測定場所

全国の517地点で、1,693箇所を測定しました。

(4) 測定方法

「電気設備の技術基準の解釈」に従い、日本工業規格 JIS C 1910:2004に準拠した磁界測定器を使用し、地面から1mの高さを測定しました。

※鉄塔写真はイメージです。実際の測定場所とは関係ありません。



送電線の中心
からの距離

送電線の中心